

HAKODATE LA SALLE

JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

令和5~6年度
学校案内



目 次

■ 理事長のことば	02
■ 教育方針/特色	03
■ 函館ラ・サール中学校	04
● 特色・年間スケジュール	05-06
● 生徒数・授業料等・クラブ活動	07-08
■ 函館ラ・サール高等学校	09
● 教育課程・年間スケジュール	10
● 生徒数・授業料等・進学状況	11-12
■ クラブ活動	13-14
■ 函館ラ・サール中学寮	15-16
■ 函館ラ・サール高校寮	17-18



HAKODATE LA SALLE



Lasallian Education Core Values

“Enter to learn, leave to serve!” At Hakodate La Salle we strive for a holistic education in all of our students. As part of the international La Salle Family we are guided by five strong educational principles that characterize all of our programs. By our principle of **Faith**, Lasallian education fosters the belief in the existence and presence of God in our world and in ourselves, a God with whom we are in a living and nurturing relationship. By our principle of **Concern for the Poor and Social Justice**, Lasallian education calls to an awareness of the people who are more in need and of the victims of injustices, inviting to respond to their needs through consideration, care, and programs of community services. By our principle of **Respect for all Persons**, Lasallian education engages in concerted efforts to

express respect for the dignity of all persons and protection of all forms of life. Esteem and deference filled relationships are at the heart of our education. By our principle of **Inclusive Community**, Lasallian education creates an atmosphere of a united community where diversity is respected, where no one is left out, and everyone feels accepted. Individuals within the community recognize and accept the strengths and limitations of all, helping and supporting each one to grow. By our principle of **Quality Education**, our school prepares not just for schooling and higher education but for life. Our education encourages the students to use their talents and abilities to critically examine the world with a holistic and comprehensive vision which invites them to take greater responsibility of their own education and of the building-up of a better society.

You are welcome to become a member of our La Salle Family, where you are going to improve the quality of your relationships, your academic abilities, your mental, spiritual and moral standards, striving to become a more responsible member of our society.

理事長のことは

*上記の英文を要約したものを掲載します。

函館ラ・サール学園は、世界に広がるラ・サールファミリーの一員として、ラ・サール会と共通した5つの教育理念を掲げ、全人的な教育を目指しています。

1つめの理念であるFaith、これは神と私たち人間や世界との関わりについて学ぶということです。2つめのConcern for the Poor and Social Justice、これは社会的な不正義により苦しんでいる人々の求めに心を寄せ、彼らを守っていくということです。3つめのRespect for all Personsとは、すべての人の尊厳を重んじるということです。お互いを尊重する考えは、私たちの教育の要となるものです。4つめのInclusive Community、これは人々の考え方のちがいや多様性を尊び、個々の考え方を受け入れていくということです。最後のQuality Educationとは、質の高い教育をするということです。これまでに掲げてきた理念を実現させるために、私たちは質の高い教育をし、生徒たちが広い視野をもって、より良い社会を作り上げていくことを目指しています。生徒たちには、卒業してからも、この5つの理念を自分の人生の中で守りながら生きていってほしいと考えています(これが冒頭のEnter to learn, leave to serveの意味です)。

本校で培う力は、みなさんが将来、社会の一員となる上で重要なものであり、一生の財産となっていくことでしょう。みなさんが私たちラ・サールファミリーの一員となっただけのことを、心から望んでいます。



Welcome to La Salle Family


Br. Rodrigo Trevino, Chairman

教育方針

- (1) キリスト教の広く豊かな隣人愛の精神を養います。
- (2) 新時代の人間として、世界に対する広く正しい認識を養います。
- (3) 知・心・体の調和のとれた、社会に役立つ人間を育てます。
- (4) ひとりひとりの能力を最大限に伸ばします。



特色

1)ファミリー・スピリット(家族的精神)

「ファミリー・スピリット」はラ・サール学園の根本的な考え方です。生徒たちは学校を一つの家族のように考え、教師たちは信頼できる父や兄として生徒たちをときに厳しく、そして温かく包みます。このような家族的精神は生徒たちに行動上の自覚をうながし、学校の名誉を重んずる態度を養います。

生徒は仲間たちのことを赤の他人だとは考えません。互いに助けあい、喜びも楽しみも、ともに分かちあうのです。しかし、このような隣人への愛は決してそれだけにとどまるものではありません。その意識はやがて生徒たちを偉大な「人類愛」へと導いていくのです。人類に対する貢献と協力—これこそ「我らみな人間家族」という自覚から生まれるのです。

2) 道徳教育

本校では毎週一時間の「倫理宗教」の授業が設定されています。この時間に生徒たちは、神や自己や隣人に恥じないためにはどのような心がけで行動したらよいかを学び、すぐにその実践につとめます。学校のこのような宗教的雰囲気は生徒の心の奥深く種子としてまかれ、やがて彼らの将来の人生に益することがあると信じます。信仰を強制することはありませんが、とくに「カトリック」について学びたいと思う生徒に対しては、朝や放課後にミサの機会を設けています。

3)学習指導

本校の生徒は全員が大学進学を希望しているので、それにこたえられるようカリキュラムを編成しています。週の授業時数は中学37時間、高校においては39時間で毎週土曜日も4時間の授業を行っています。

英語については開校当初から日本人教師と外国人教師が指導にあたり、英語に親しみをおぼえ、より早く、よりたやすく英語をマスターできるように指導しています。また、生徒の志望と適性に従って、より充実した授業を受けられるよう、高校2年次より文系コースと理系コースに分かれたクラス編成となります(文系については3年次に国立コースと私立コースに分かれます)。また、今年度から東大・京大・医学部などの最難関大学合格をめざす「特進コース」を新設しました。中学からの内部進学生で成績上位者は、高校から特進入学者と合流して高2から特進クラスで学びます。そして、近年の大学入試の多様化にも対応できるように、高校3年次では大学入試に即応する「特講」科目を設定するとともに、最難関大学受験を想定した個別指導の充実をはかっています。

学期は、前・後期二期制です。定期テストは年6回、この他実力テストも行います。各種模試も行うほか、夏休みと冬休みに講習・補習を実施し、学力向上に努めます。

4)学校行事

中学の学校行事としては、遠足、スキー研修、1・2年次の函館フィールドワーク、3年次の海外研修旅行などがあります。また高校の名物行事として、開校以来続けている速歩遠足では高校生がめいめい約20kmの完走歩を目指します。

中学高校で共通する最大の行事は7月の学園祭で、2日間にわたって盛大に行われます。また、2月の雪中運動会では雪にまみれて騎馬戦、ソリリレーなどを元気に戦います。秋の球技大会は中・高に分かれての実施となります。

PTA行事としては総会など一般的なもののほか、遠方の保護者の方々にも便宜をはかるべく旭川市から大阪市まで全国8カ所に教師が赴いて実施する「移動保護者会」などがあります。

5)充実した奨学金制度

本校には、「ラ・サール会奨学金」(中高)と「同窓会奨学金」(高)の制度があり、これらは返還義務がありません。さらに高校には、授業料軽減制度(就学支援金と合わせて実質授業料無料となります)と入学金減免制度(全額か半額免除)もあり、家庭の経済状態で学費支弁が困難であっても、本校で学ぶ強い意志を持った優秀な生徒を支援しています。

HAKODATE LA SALLE JUNIOR HIGH SCHOOL

函館ラ・サール中学校

もっと自由に、もっと自在に、もっと自分を伸ばしたい。
可能性の芽はやがて社会という大地に
しっかりと根ざしてゆたかな森を創る。
一枚一枚カタチの違う新緑たち。
その萌える息吹を函館ラ・サールは大切に育てます。



1999年に開校した本校には、開校当初から全国の英才が集まっています。そして今や市外出身生徒の割合と出身地の多様性において全国一を誇っています(道外生が約半数を占めます)。これは北海道の豊かな自然と歴史的情緒を併せ持つ函館の恵まれた生活学習環境もさることながら、カトリックミッションスクールとしての人間教育重視の教育実践、そして、全国唯一の大部屋寮生活を通して、深く多様な友人関係と、大人になって最も必要とされる逞しい人間関係力を培うことができることなどが高く評価されているからだと思います。

函館ラ・サールは単なる進学校ではありません。本校での中高6年間で身につけるべきものは、高い学力だけではなく、将来の自分にとっての逞しく豊かな人間力でもあります。本校卒業生が他校にも増して横のつながりと母校への愛着心が強いのは、自分がラ・サールで得たものの大きさを実感しているからに他なりません。このよき伝統を引き継ぎ、豊かな自己を実現すると同時に、世のため人のために尽くす能力と精神を持った人間となるよう、ラ・サールは子供達を全力で支援します。

学習への前向きな努力、そして着実にステップアップする推進力。 社会が求めるベクトルの先は、常に人間力という魅力です。



**バランスのとれた教育内容で、
「学力」と「心」を育てます。**

本校では、1週間の授業時間を37時間としています。これは基礎的な学力をしっかりと身に付け、なおかつ様々な活動に使える時間的な余裕をもたせるためです。また、カトリックのミッションスクールという特色を活かした倫理宗教の授業や、国際性を重視した英語教育などを通して「知」・「心」・「体」の育成に積極的に取り組んでいきます。

● 中学教育課程表 (1週間/時間)

学年 教科	1年	2年	3年
国語	6	6	6
社会	3	4	4
数学	6	6	6
理科	4	4	4
音楽	1.5	1	1
美術	1.5	1	1
保健体育	3	3	3
技術・家庭	2	2	1
外国語	6	6	6
道徳(宗教)	1	1	1
総合的な学習の時間	2	2	2
特別活動	1	1	1
合計	37	37	36

- ※1 「宗教」は、学習指導要領における「道徳領域」の時間である。
- ※2 1年次の「音楽」は前期2単位、後期1単位で実施する。
- ※3 1年次の「美術」は前期1単位、後期2単位で実施する。
- ※4 3年次では1単位を、統一テストや補修などの時間として活用する。



**入試については、
総合的な観点にたって判定します。**

入学試験は、国語・算数・理科・社会の4教科、もしくは社会を除く3教科の選択制で実施しています(2次入試のみ国・算の2教科受験も可)。4教科受験の配点は、小学校での学習量と、基礎学力のバランスを総合的に考慮し、国語・算数が各100点、理科・社会が各50点となっています。詳細は入試要綱をご覧ください。

開かれた教育システムで、ふれあいから生まれる信頼を築いていきます。

本校では、生徒一人ひとりの人格のよりよい陶冶を支援するため、教師と生徒との人間的なふれあいを重視しています。教師は、生徒との相互的な信頼関係を築くとともに、保護者の方々と綿密な連絡をとり、ともに手を携えてそれぞれの個性に応じた生徒指導を目指しています。また、生徒が気軽に相談できる体制・施設などの総合的な環境の整備にも努めています。



授業風景



2018年12月 海外研修旅行(中3 アメリカ合衆国リパティアイランド)

仲間との連帯や地域との関わり、そして国際的な視野、すべてが学ぶ意志の獲得へとつながります。

学園祭や海外研修旅行などの特色ある学校行事。それらを通して生徒たちの心に刻まれる大切な思い出。規律ある生活態度を身につけると同時に、仲間との活動の中で友情が育まれていきます。相互理解の深まりが、自分の存在を確かなものとするにつなげていくことでしょう。地域とのふれあいから社会性を身につけ、世界の仲間たちとの交流を通して国際性を自分のものにし、自らが学ぶことのモチベーション＝学ぶ意志を獲得していきます。

自分の可能性を発見し、チャレンジすることの大切さを学びます。

部活動を通して生徒たちは、自分の特技・能力を伸ばし、チャレンジ精神を発揮して、目標達成のために努力し続けていくことの大切さを学んでいきます。同じ目的を持つ仲間との活動を体験することにより、協調性が養われ、相互理解が深まります。



函館フィールドワーク

年間スケジュール

- 4 ●入学式
●オリエンテーション(1年)
●身体測定
●対面式
●生徒総会

- 5 ●聖ラ・サールの日の集い
●PTA総会
●第1中間テスト

- 6 ●保護者会
●遠足
●中体連壮行会
●芸術鑑賞
●第2中間テスト

- 7 ●中体連大会
●学園祭
●夏休み

- 8 ●実力テスト

- 9 ●移動保護者会
●球技大会
●前期期末テスト

- 10 ●函館フィールドワーク
&発表会(1・2年)

- 11 ●追悼式
●第1中間テスト
●保護者会
●生徒会役員選挙

- 12 ●海外研修旅行(3年)
●クリスマス会
●第2中間テスト(1・2年)
●冬休み

- 1 ●実力テスト
●第2中間テスト(3年)

- 2 ●スキー研修
●雪中運動会

- 3 ●学年末テスト
●終業式
●卒業式
●春休み

HAKODATE LA SALLE JUNIOR HIGH SCHOOL SCHEDULE

出身地域別生徒数

(令和5年度)

	1年	2年	3年	計
函 館	16	24	30	70
札 幌	4	2	3	9
道 北	1	0	2	3
日 胆	1	1	1	3
道 東	2	0	0	2
青 森	1	0	2	3
盛 岡	2	1	3	6
関 東	26	30	37	93
中部名古屋	4	3	4	11
関 西	4	4	5	13
計	61	65	87	213

※注 支部の区分は高校欄(P.11)に同じ

授業料等学校納付金

授業料及び諸費(令和5年度の場合)

	月 額
授業料	38,000円
図書費	300円
PTA・母の会・協力会会費	1,550円
生徒会会費	1,250円
施設設備充実費	8,500円
研修旅行積立金	11,000円
計	60,600円

入学手続納付金(令和5年度の場合)

入学金	150,000円
-----	----------

次年度の入学金・授業料等は、上記の金額を改定することがあります。
※転入については、本校事務室にお問い合わせください。



授業風景



2019年12月 海外研修旅行(中3 アメリカ)



A 英語圏への海外研修旅行を行います。
留学生と同じように、ホームステイをしながら現地の学校の授業に参加します。

Q 修学旅行は行いますか。

A プレザーを基調とした制服があります(高校生は私服。制帽はありません)。

Q 制服・制帽はありますか。

A 夏休み・冬休みに生徒の学力状況に応じた補習・講習を開いています。また、日常的にも必要に応じて補習を行っています。

Q 授業外での補習・講習はありますか。

A 高校と同じく毎週4時間授業を行います。

Q 土曜日の授業はありますか。

A 必要ありません。基本的に全員高校に進学できます。

Q 函館ラ・サール高校進学時には入試を受けなければならないのですか。



2022年6月 遠足



2023年2月 スキー研修(中1~3)



2022年9月 球技大会



2023年2月 雪中運動会

クラブ活動

約80%の生徒がクラブに加入しており、対外試合や活動もさかんです。

文化系クラブ

- 棋道
- グリー
- 茶道
- 写真
- 吹奏楽
- 理科

運動系クラブ

- 硬式テニス
- サッカー
- 柔道
- 水泳
- 体操
- 卓球
- バスケットボール
- バレーボール
- 野球
- ラグビー

2022年度全道大会出場クラブ ● ラグビー部 ● 体操部



2019年10月 函館フィールドワーク(中1・2)

A 使います。ただ教科によっては副教材・自作プリントも多く使います。

Q 教科書は検定済教科書を使いますか。

A 全教科統一的な先取りはしません。高度な基礎力の養成を重視します。しかし生徒のレベル及び授業時間の多さによって結果的に一定の先取りになります。

Q 「先取り」授業を行いますか。

A 各教科固有の思考力を問うような問題を出題しています。

Q 入学試験はどのように行われますか。

A 令和5年度入試は、第一次には函館・札幌・東京・名古屋・大阪の5会場、第二次には函館・東京・名古屋・大阪の4会場で行いました。また、試験問題については中学校の領域に入った難問ではなく、各教科固有の思考力を問うような問題を出題しています。

函館ラ・サール中学校

HAKODATE LA SALLE HIGH SCHOOL

函館ラ・サール高等学校



函館ラ・サール高等学校は1960年(昭和35年)にカトリック・ラ・サール修道会によって、函館市日吉町に設立されました。本校の名称は聖ジャン・バプティスト・ド・ラ・サールに由来します。聖ラ・サールは1651年にフランスに生まれました。学校教育による社会の改革を志し、財産や栄職を捨てて生涯を青少年の教育に捧げ、近代教育に偉大な業績を残しました。聖ラ・サールの遺志を継ぎ、教育を天職とする人々の集まりがラ・サール修道会です。

ラ・サール修道会は現在、世界約80カ国に912の各種の学校を経営し、4,000余名の修道士が80万人をこえる児童・生徒の教育に携っています。日本では本校のほか鹿児島にラ・サール中・高等学校、仙台に児童養護施設「ラ・サール・ホーム」があります。



研修旅行(東京)

教育課程表 (現行のもの)

新年度は教育課程が変更になります。決定後ホームページにてご案内する予定です。

学 年	高 1 年				高 2 年				高 3 年					
	共 通		理 系		文 系		理 系		国立文系		私立文系			
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位		
国 語	現代の国語	3	論理国語	3	論理国語	3	論理国語	2	論理国語	2	論理国語	2		
	言語文化	4	古典探求 ※国語演習	3 2	古典探求 ※国語演習	3 2	古典探求	2	古典探求 ※国語演習	2 3	古典探求 ※国語演習 ※特別国語	2 3 4		
地 理 歴 史	地理総合	2	日本史探求	2	日本史探求	3	日本史探求	3	日本史探求	3	日本史探求	3		
	歴史総合	2	世界史探求 地理探求	3 3	世界史探求 地理探求	3 3	世界史探求 地理探求	3 3	世界史探求 地理探求	3 3	世界史探求 地理探求	3 3		
公 民	公共	2					政治・経済		政治・経済		政治・経済			
数 学	数学I	3	数学II	4	数学II	4	数学III	4	数学C	4				
	数学A	3	数学B	3	数学B	3	数学C	4						
理 科	物理基礎	2	物理	2	化学基礎	3	物理	4	化学基礎	2				
	生物基礎	2	生物 化学基礎	2 4			生物 化学	4 4	生物基礎	2				
保 健 体 育	体育 保健	2 1	体育 保健	2 1	体育 保健	2 1	体育	3	体育	3	体育	3		
芸 術	音楽I 美術I	2												
外 国 語	英コミュI	3	英コミュII	4	英コミュII	4	英コミュIII	4	英コミュIII	4	英コミュIII	4		
	論理・表現I ※英会話	2 2	論理・表現II ※英会話	2 2	論理・表現II ※英会話	2 2	論理・表現III ※英会話 ※英語演習	2 2	論理・表現III ※英会話 ※英語演習	2 2	論理・表現III ※英会話 ※英語演習 ※特別英語	2 2 4		
家 庭	家庭基礎	2												
情 報			情報I	2	情報I	2								
総 合 的 な 探 求 の 時 間	倫理宗教	1	倫理宗教	1	倫理宗教	1	倫理宗教	1	倫理宗教	1	倫理宗教	1		
特 別 活 動	LHR	1	LHR	1	LHR	1	LHR	1	LHR	1	LHR	1		
合 計		39		39		39		36		36		36		

注1) ※は学校設定科目を表す。

注2) 3年次では3単位を学校設定科目「特講」とし、入試に向けた複数の選択科目を用意する。

2021年から「特進コース」を新設しました

「特進コース」の特徴

- 東大・京大・医学部など最難関大学合格をめざすコースです。
- 入試の得点でコース入りの可否を決定します。
- 英語・数学について、本校の内部進学生に匹敵する進度にもとづいた高い学力を身につけてもらいます。
- 高2からは、内部進学生の中で成績上位かつ特進コース入りを希望する生徒とともに文理混合の最上位クラスを編成します。
- なお、「一般コース」は北大などの難関大学合格をめざします。



授業風景



2022年7月 学園祭

年間スケジュール

- 4 ●入学式 ●対面式
●オリエンテーション(1年)
●身体計測
●生徒総会
●実力テスト(2・3年)
- 5 ●聖ラ・サールの日の集い
●PTA総会
●第1中間テスト ●壮行会
- 6 ●保護者会 ●高体連大会
●教育実習
●速歩遠足
●芸術鑑賞
●第2中間テスト
- 7 ●学園祭
●夏休み
- 8 ●実力テスト
- 9 ●移動保護者会
●球技大会
●前期期末テスト
- 10 ●研修旅行(1年)
- 11 ●追悼式
●第1中間テスト
●保護者会
●生徒会役員選挙
- 12 ●第2中間テスト
●クリスマス会
●冬休み
- 1 ●実力テスト
- 2 ●卒業式
●雪中運動会
- 3 ●学年末テスト
●終業式
●春休み

HAKODATE LA SALLE HIGH SCHOOL SCHEDULE



研修旅行(高1 東京)



2019年6月 速歩遠足

授業料等学校納付金

授業料及び諸費(令和5年度の場合)

	授業料	図書費	P T A ・ 母の会・ 協会の会費	生徒会 会費	計
月額	43,100円	300円	1,550円	2,000円	46,950円

授業料等の納付額軽減については、保護者の所得に応じて「国の就学支援金」および「北海道の授業料軽減」のほか、「函館ラ・サール高等学校特別奨学金制度」などがあります。

入学手続納付金(令和5年度の場合)

入学金	150,000円	入学手続き納付金のうち、「施設設備充実費」は、入学後の3年間で分割納入もできます。
施設設備充実費	150,000円	

次年度の入学金・授業料等は、上記の金額を改定することがあります。

※転入については、本校事務室にお問い合わせください。

出身地域別生徒数

(令和5年度)

支部	学年	1年	2年	3年	計
函館		30	46	39	115
札幌		4	7	9	20
道北		5	4	5	14
日胆		2	0	2	4
道東		3	4	4	11
青森		3	5	7	15
盛岡		8	11	10	29
関東		34	36	30	100
中部名古屋		4	5	0	9
関西		5	6	7	18
計		98	124	113	335

※注 函館支部……渡島、檜山地区
 札幌支部……石狩、後志、南空知地区
 日胆支部……胆振、日高地区
 道東支部……十勝、釧路、根室地区
 道北支部……北空知、上川、留萌、宗谷、北見、網走地区
 青森支部……青森地区
 盛岡支部……岩手、秋田、宮城、山形、福島地区
 関東支部……関東、静岡、甲信越地区
 中部名古屋支部……愛知、岐阜、三重地区
 関西支部……北陸、近畿以西地区



授業風景

大学進学状況 ※令和5年4月12日判明分

(1)進路別合格者(令和4年度)

[卒業生数114]

	文科系	理科系	医・歯系	合計
国立大	5	17	5	27
公立大	1	3	4	8
私立大	68	61	15	144
合計	74	81	24	179

※本校の場合、文科系クラスの生徒は法学部、理科系クラスの生徒は医・歯学部を志望する者が非常に多い。また、道内の大学より道外の大学を希望する者が多く、進学先は全国各地の大学にわたっている。

(2)難関10大学

	R5年	R4年	R3年	R2年
北海道大	5	5	7	10
東北大	0	2	2	0
東京大	0	1	0	0
名古屋大	0	0	1	0
京都大	1	1	0	0
大阪大	0	0	0	0
九州大	1	0	0	0
東京工業大	1	0	1	3
一橋大	1	0	1	1
神戸大	0	0	0	0
合計	9	9	12	14

(3)国立医学部医学科

	R5年	R4年	R3年	R2年
北海道大	0	0	2	0
札幌医大	4	2	0	1
旭川医大	0	2	1	3
弘前大	3	0	1	3
東北大	0	0	1	0
秋田大	2	0	0	0
福島県立医大	0	0	0	1
熊本大	0	0	0	1
防衛医大	0	1	0	2
合計	9	5	5	11

(4)私立医学部医学科

	R5年	R4年	R3年	R2年
岩手医大	1	0	1	0
自治医大	1	1	1	2
獨協医大	1	0	1	1
埼玉医大	0	0	0	1
北里大	0	1	0	0
杏林大	0	0	1	0
昭和医大	1	0	0	0
帝京大	0	1	1	0
東京医大	1	0	0	0
東京慈恵会医大	0	0	0	1
日本大	0	1	0	0
聖マリアンナ医大	0	0	0	1
金沢医大	0	1	0	1
愛知医大	0	1	0	0
藤田医科大	0	0	0	1
大阪医薬大	1	0	0	0
関西医大	1	1	0	0
近畿大	1	1	0	0
兵庫医大	1	1	0	0
川崎医大	1	0	0	0
久留米大	1	0	0	0
福岡大	0	0	1	1
合計	11	9	6	9

(5)医学部医学科合計

	R5年	R4年	R3年	R2年
合計	20	14	11	20

(6)主な大学合格者数

	R5年	R4年	R3年	R2年
小樽商大	0	0	1	0
帯広畜産大	2	1	0	1
北見工大	0	0	0	1
道教育大	1	0	0	0
弘前大	4	2	3	6
岩手大	4	0	2	0
筑波大	2	1	0	1
千葉大	1	0	1	0
横浜国立大	0	0	1	1
新潟大	0	0	0	1
金沢大	0	1	2	1
信州大	1	0	1	0
静岡大	0	0	1	0
熊本大	0	0	0	2
宮崎大	0	0	1	0
ほこだて未来大	1	3	1	1
高崎経大	0	0	2	0
国公立大・小計	35	31	32	42
慶応義塾大	4	3	4	4
早稲田大	8	5	5	16
上智大	6	5	7	4
東京理科大	7	11	6	7
学習院大	0	0	2	0
明治大	9	13	2	6
青山学院大	7	3	1	1
立教大	8	7	4	5
中央大	3	4	17	10
法政大	8	6	8	4
関西学院大	2	2	3	5
同志社大	1	2	6	6
立命館大	2	1	6	8
国際基督教大	1	1	1	1
私立大・小計	144	140	166	244
総計	179	173	199	290

(7)主な指定校推薦(令和4年度分)

早稲田大学	法、商
中央大学	文、法、経済、理工、国際情報
東京理科大学	先進工、理、経営、創造理
明治大	法
立教大学	観光、経済、法、社会
法政大学	デザイン
国際基督教大学	教養
学習院大学	文、経済、理
日本大学	工、松戸歯
明治学院大学	文、経済、社会、法 など
東海大学	文化社会、工
北里大学	医、獣医
工学院大学	先進工、建築、情報
芝浦工業大学	工、理工、デザイン、建築
東京工科大学	医療保健、デザイン、メディア、コンピュータ
東京電機大学	システム、理工
東京農業大学	生物産業、応用生物
東京薬科大学	薬、生命科学
獨協医科大学	医
千葉工業大学	工
東京歯科大学	歯
日本歯科大学	歯
武蔵大学	経済
東京都市大学	理工、情報工、環境、都市生活
桜美林大学	航空
武蔵野音楽大学	音楽
同志社大学	経済、理工、文化情報、商
関西学院大学	総合政策、法
南山大学	理工、国際教養
ほこだて未来大学	システム
北海道医療大学	薬、歯、看護福祉、医療技術
北海道科学大学	薬
岩手医科大学	歯
東北学院大学	文、経済、法、工
他	多数

クラブ活動

本校ではクラブ活動がさかんで、現在約80%の生徒が加入しています。対外試合や活動もさかんで、毎年道内の大会で好成績を収め、全国大会に出場するクラブもいくつかあります。

2022年度 全道大会出場クラブ

- 柔道 ●体操 ●ラグビー
- 軟式野球 ●硬式テニス ●水泳
- バレーボール ●ワンダーフォーゲル
- 剣道同好会 ●放送局 ●棋道
- ミッション ●写真 ●英語研究
- グリー

2022年度 全国大会出場クラブ

- ラグビー ●棋道





2015年度・2017年度・2020年度 全国高等学校ラグビーフットボール大会(花園)出場



文化系クラブ

- 一般音楽
- 棋道
- 茶道
- ジャズ研究
- ボランティア
- ミッション
- 英語研究
- グリー
- 写真
- 天文
- 漫画研究

運動系クラブ

- アーチェリー
- 硬式野球
- 柔道
- 体操
- 軟式テニス
- バスケットボール
- バレーボール
- 陸上
- 硬式テニス
- サッカー
- 水泳
- 卓球
- 軟式野球
- バドミントン
- ラグビー
- ワンダーフォーゲル

外局

- 応援団
- 新聞
- 図書
- 吹奏楽
- 放送

同好会

- 剣道
- 理科
- お花



自習室



寝室(大部屋)

函館ラ・サール中学寮

寮の目的、指導方針等

われわれは寮を経験学習の場、教育の場としてとらえています。寮生活を通して基本的な生活習慣、共同生活のルール、友人関係等を日々の生活体験の中で積極的に学んでほしいと思っています。

小学校卒業と同時に親元を離れ未知の寮生活に身を置くには、大きな精神的負担が伴いますが、きめの細かい指導体制によってこれをカバーしています。

寮生活の構成

中学寮の定員は各学年80名、計240名です。令和5年度は1年生44名、2年生40名、3年生55名、合計139名が寮生活をしています。

学習のための自習室(学年単位)、寝起きを共にする寝室(学年単位)、テレビと簡単な調理設備を備えたラウンジが中学生の生活の場です。その他、全寮共同の施設として大食堂ホール、大浴場があります。

生活管理

寮の食事は全国有数の専門業者、株式会社シダックスに業務委託しており、同社の管理栄養士、調理師等が健康な食生活のため

力を尽くしています。

健康管理については養護担当寮母を中心に寮母、寮教諭が日常生活の中で心くばりするほか、簡単な手当等を行います。万一の傷病に際しては、校医・寮のホームドクターのもとで万全の処置がとられます。通院の際は車での送迎を行っています。

衣類については洗濯から補修まで担当の職員が行います。

現金等貴重品の管理については寮事務室にて預かりの制度をとっています。

郵便・電話の受継は中学事務室で集中管理します。なお、日課の義務自習時間中は電話の取次ぎはできません。

入浴は放課後から午後7時15分までは高校と共通としますが、中学専用時間として22:15~22:45を設けています。

寝具については高校と同方式のリース制度を採用しています。

家庭との連絡手段としてメールとFAXを利用した通信便「ドミトリイ Junior」を5月・10月に発行・配信しています。また寮機関誌「ドミトリイ」を年3回発行しています。生活の様子は画像でインターネットホームページに掲載しています。家庭から寮への要望等はFAX・E-mailで受け、返信も行っています。

寮行事

新入生歓迎会、食事会、送別会、映画会、教養番組を見る会、OB・父母による講演会やクリスマス会等多彩な行事があります。

生活指導

中学生として当然身につけていなければならない基本的な生活マナー(あいさつ、言葉づかい、エチケット、整理整頓、健康管理、時間管理等)については特に指導の力点を置いています。

共同生活の運用については寮生の自覚性を尊重し、自分たちの生活は自分たちで創るという気概を重視して、積極的に自由闊達な寮生活の展開を目指しています。

高校寮で実績のある先輩チューター(tutor)制度を中学寮にも導入し、中学寮独自のチューター制度を実施しています。

これにより新入生の寮生活指導の徹底とリーダーシップの養成を図っています。

指導スタッフとしては寮教諭、寮母が緊密なチームワークを組み、きめの細かい指導を行っています。寮母は整理整頓の指導、日常生活(病気等)の世話等を通して寮生の母親的役割を担っています。

学校との連帯

学校教員と緊密な連絡を取り、生活・学習面で一体化した指導をするようにしています。日常の情報交換を密に行い、きめ細かい生活指導を心がけています。また寮教諭が学校教科担任と連携して、寮内で個別教科指導をすることもあります。

費用

令和5年度の入寮費(入寮のための一時金)は100,000円、寮費は月額77,000円です。寮費は年間所要経費を12ヶ月で均等割りしたもので、季節等による変動はありません。食費(三食支給)、光熱水費(暖房費を含む)、管理経費、厚生費等生活の経費の全てがこの寮費によってまかなわれます。

また寮債券(1口1万円、購入単位3口以上、卒業時返還)を発行し、入寮者に対し、協力をお願いしています。



屋上



事務室



寮食堂

DORMITORY LIFE INFORMATION

寮生活の先輩から

中3(中学23期生)
池田 昂生



入寮の日に親と別れた直後、私は1人で落ち込んでいました。「家に帰りたい、家族に会いたい……」。しかし3年経った今は、そのように思うことは全くなく、寮に入って、今の仲間達と生活を送れて、とても良かったと思っています。

函館ラ・サール寮は「大部屋」と呼ばれる形態です。寝室には約50の二段ベッドとロッカーが並び、そこにはいわゆる「個人のプライバシー」はほとんどありません。しかし、それこそが最大の魅力だと私は思います。友人同士の交流が盛んに行われ、誰とても気軽に話せます。誰かとベッドのところで話していると、周りの人たちも加わり、会話が弾みます。また、人狼ゲーム・人生ゲームなどしていると、通りかかった人もゲームに参加し、やがて大人数となり、より楽しむことができます。このように、とても濃密な人間関係を構築することができるのです。

また、寮生活を通じて、自分の成長を自分自身で感じることができます。最初は全員が寮生活を何も分からない状況です。そのため、上級生から選抜された「チューター団」によって寮生活のイロハをたたき込まれます。チューターが説明してくれたことをすぐに実行できる人もいますが、そうではない人もいます。また、人間関係のトラブルも起こります。大部屋生活ではとても多くの人とコミュニケーションを取るため、このようなトラブルは中1の場合は、多いと思います。しかし、そこから色々なことを学び、気づき、成長していくのです。卒業する時にはたくさんの思い出がよぎり、「大部屋生活を送れて良かったな、成長ができたな」ときっと思えることでしょう。

私も函館ラ・サール寮に入って、とても成長できました。入寮までは親がしてくれていたことも含めて、自分のことは自分でできるようになりました。今では家に帰った時、寮では自分でやることを親がやってくると、少々違和感を覚えるほどです。それと同時に寮で関わった多くの方々にとっても感謝をしています。これからも勉強、部活動、生活、全てを全力で取り組んでいきたいです。

寮の一日

平日

- 7:10 起床
- 7:20 点呼
- 7:30 朝食
- 8:15 登校完了
- 12:10 昼食(12:40まで)
- 14:40 下校(月・水)
- 15:35 下校(火・木・金)
- 入浴(19:15まで)
- 18:00 夕食(19:00まで)
- 18:30 門限
- 19:20 点呼、集い
- 義務自習(1限目)
- 20:20 休憩
- 20:30 義務自習(2限目)
- 21:15 休憩
- 21:25 義務自習(3限目)
- 22:10 義務自習終了
- 反省 黙想
- 22:15 自由時間
- 自由時間
- (学習・入浴等)
- 清掃
- 22:55
- 23:00 就寝

休日

- 自由起床(8:30まで)
- 7:30 朝食(9:30まで)
- 12:00 昼食(13:00まで)

その他は平日に同じ

※原則として土曜日以外は義務自習あり。
学校休日の前日で義務自習のない日の門限は19時。



新築された高校寮

函館ラ・サール高校寮

寮の目的

本校では、開校当初から遠隔地から入学する生徒のために、寮を設けています。寮はただ単に、寝食と勉強の場を提供するだけの施設ではありません。それよりはむしろ、個々の生徒が日常の生活経験を通して、自らの人間性を高めていくことができるような、人間共同体を旨として寮を運営しています。

物質的には十分すぎる程恵まれた生活環境の中にありながら、核家族化と過保護の中に育った現代の青少年には、精神的な脆弱性が見受けられます。このような時代にあって、あえて家庭を離れ、厳しい共同生活に身をおくには、それなりの勇気と決断が必要ですが、それによって得られる精神的成長は、はかりしれません。共同生活を通して学ぶ規律ある生活、自立・忍耐・協調の精神、また様々な葛藤を含む多様な友人関係を通して得られる信頼・相互理解等の経験は何ものにもかえがたいものです。寮生の父母が久しぶりに帰ってくる息子がたくましく自立していく姿に目をみはるのは、あるいは当然のことなのかもしれません。

寮の定員

各学年136名、総計408名が収容定員です。令和5年度は「1年生73名、2年生75名、3年生74名、合計222名が寮生活をしています。

寮生活

高校からの新入生と内部進学 of 1年生、2・3年生とでは全く異なる生活形態をとっています。新入生の寮には個室がなく全ての生活が大きな集団単位で営まれます。2段階ベッドがズラリと並び全員が寝起きを共にする寝室、30人単位の学習のための自習室、それにテレビ室と簡単な調理設備を備え、談話室の機能を持たせた部屋が生活の場の全てです。この1年の生活形態を大部屋方式と呼んでおりますが、一見時代錯誤とも思えるこの生活様式が、まだ半分子供の新入生にとっては大きな利点として作用します。多くの仲間と一緒にいることで寮生活に早くなじめること、友人関係もつくりやすいこと、ホームシック等による精神的な緊張を緩和してくれること、あるいは仲間からの刺激で

自発的に勉強の習慣が身につく等の点で成果をあげています。このような1年での寮生活での基礎づくりを踏まえた上で、2・3年になると4人の組み合わせを基本とした少人数単位の寮室に移り寮生活を続けることとなります。(1年生の日課は別表のとおりです)

寮生活をいっそう実り多いものにするため、寮生による自治会組織が設けられており、全寮生が加入することになっています。寮における共同生活に生命を与えるものはお互いの連帯感であり、共同体意識ですが、それを発展させる役目を果たするのが自治活動にほかなりません。自治会は各種行事の企画、立案、実施あるいは、日常生活の自主的運営等について具体的活動を行なっています。

寮生活を希望する諸君に最も求められるのは、多少の困難には動じないだけの強い精神力と積極的な生活態度、責任感であり、自分を高めていこうとするしっかりした自覚です。



ホール



4人部屋



寮食堂



事務室

寮スタッフ

寮は学校の管理下にあり約40名(食堂を含む)の職員によって寮の運営が行なわれています。寮生の生活指導は、学年別単位になっており、各学年に担当の寮教諭、また副担当の寮教諭や寮母がいて、個人面接、アッセンブリー等を通して生活面における指導助言を行っています。寮の給食は専門業者へ業務委託しており、専任の栄養士および調理師等が健全な食生活のために、尽力しています。健康管理に関しては養護担当寮母を中心に各寮母、寮教諭が日常生活の中で心くばりするほか、簡単な手当等を行います。また万一の傷病に際しては、校医あるいは寮のホームドクターのもとで万全の処置がとられます。衣類については洗濯はもちろん、補修まで職員が行います。

また、家庭と寮を結ぶ絆として機関誌「ドミトリィ」を年3回発行しています。また、インターネットホームページでも生活の様子をお伝えしています。

費用

令和5年度における入寮費(入寮のための一時金)は 100,000円、寮費は月額80,000円です。寮費は年間所要経費を12カ月で均等割りしたもので、季節等による変動はありません。食費(三食支給)、光熱水費(暖房費を含む)、管理経費、厚生費等生活の経費の全てがこの寮費によってまかなわれます。

また昭和48年度から寮債券(1口10,000円、購入単位3口以上、卒業時返還)を発行しておりますが、令和4年度も入寮者に対し、協力をお願いする予定です。

なお、寮生のこづかいについては、一時預り制度をとり、出納管理を行っており、質素な生活習慣を身につけさせることを指導の主眼としております。

高1寮の日課

平日

7:20	起床
7:30	点呼
7:30	朝食
8:25	登校完了
12:10	昼食
	下校
	入浴(19:40まで)
18:00	夕食(19:00まで)
19:50	門限
19:55	義務自習開始
19:55	↳ 自習①
20:55	休憩
21:05	↳ 自習②
22:05	休憩
22:15	↳ 自習③
23:00	自由時間 (週1度、各自習室ごとにミーティング)
	入浴(23:40まで)
23:35	清掃
24:00	一年寮消灯

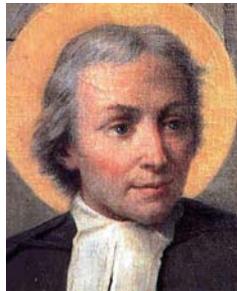
休日

	自由起床
7:30	朝食(9:30まで)
12:00	昼食(13:00まで)

その他は平日に同じ

※原則として土曜日以外は義務自習あり。

●郵便・電話の受継
寮事務室で集中管理します。なお義務自習時間中・夕食時間中は電話の取次はできません。



函館ラ・サール 中学校 高等学校

〒041-8765 函館市日吉町1-12-1
 TEL 0138-52-0365 FAX 0138-54-0365
<https://www.h-lasalle.ed.jp/>

函館ラ・サール 中学校寮 高等学校寮

〒041-8765 函館市日吉町1-12-2
 TEL 0138-51-8896 / 51-8620(寮事務室専用)
<http://dormitory.h-lasalle.ed.jp/>